

# 平成25年度子どもをはぐくむ家庭・地域支援事業

## 地域子育てサポートチーム養成研修地区別研修A(県北)

日時 平成25年7月27日(土)

場所 福島県男女共生センター

福島県教育委員会では、昨年度に引き続き、子育て力の向上に向けた取組や子育て不安や悩みを抱える保護者等の支援を行うため、子育て・家庭教育支援に携わる地域の人材を養成することを目的として、「地域子育てサポート養成事業」を実施しています。研修期間は3日間です。

1日目は6月22日に全体研修として郡山市労働福祉会館で実施しました。(139名参加)

2日目は7月27日に地区別研修A(県北)として二本松市の福島県男女共生センターで実施しました。参加者は、37名でした。2日目の様子を紹介します。

### 研修テーマ

## = 家庭教育支援のあり方(発達段階に応じたかかわり方) =

時 程	研修内容等
10:00~10:30	受 付
10:30~12:00	<input type="checkbox"/> 講義① 「乳幼児期から青年期の心の発達とその問題・支援」 講師：ロマリンダクリニック（郡山市） 臨床心理士 児島明子 氏
12:00~13:00	昼 食
13:00~15:00	<input type="checkbox"/> 講義・演習① 「家庭の役割と子どものかかわり」 講師：桜の聖母短期大学 教 授 西内みなみ 氏
15:00~15:30	諸 連 絡

### 講義①「乳幼児期から青年期の心の発達とその問題・支援」

講師：ロマリンダクリニック臨床心理士 児島明子 氏

- 人間のライフサイクルには、それぞれの発達課題があって、それを乗り越えていくことが大切である。各段階は個々人によって迎える年齢に差は出るものだが、自分自身が今現在どの段階にいて、何を身につけていくことが大切なのかについて、E. H. エリクソンの発達課題はヒントを与えてくれる。

- 発達に影響する現代社会の特徴として①大人として自立しにくい。②空想的満足が優勢になる。③兄弟が少ない。競争・思いやり・共同体験が得にくい。④性的に解放され、抑える力が少ない。⑤家庭の力が変化、不安定になりやすい。⑥ボーダレス化。⑦大人の幼稚化、子どもの早熟化⑧人生目標の不明確さなど、こうした傾向があることを理解しておくことが大切である。



【次ページへ続く】

- 子どもたちの健全な成長のための支援…①大人になるためにはよいモデルが必要。誰に出会うか、出会いの大切さ。②学校では、一人一人の先生方の安心感が子どもに伝わる。家庭でも同じ。③やはり、一番家庭が大切。安心して休める場所であってほしい。

#### 受講者の声

- 児島先生からは、臨床心理士として女性のためのカウンセリングや公立学校スクールカウンセラーとしての具体的な実践を交えた話が随所にあり、発達段階の特性を分かりやすく学ぶことができました。
- 子どものそれぞれの発達段階で、よい出会いが大切だと思いました。その中でもそれを支える家庭の役割が一番大切だと思いました。



## 講義・演習①「各発達段階における子どもとの関わり方について」

講師：桜の聖母短期大学生活科学科教授 西内みなみ 氏

- 自己制限パラダイムから自己実現パラダイムへの転換  
福島の子の実態…夢やあこがれは持っているがその実現に向けて背伸びしようとしな。自分はだめだとあきらめてしまう。親や大人は、子どもの夢やあこがれを持ち続けられ、必ず実現するのだということを教えていかなければならない。「自分にはできない」から「自分にはできる」へのパラダイム転換を起こしてあげることが大切である。一度獲得してしまったパラダイム（ものの見方・考え方）は簡単には消えない。子どもにすり込まれた考えはなかなか変わらない。しかし、ものの見方の違う人やできごとにかかわらせることで、変えることができる。予想外な経験や感動する経験をさせることで、パラダイム転換は図られる。「無理だ」というパラダイムを持った子を自己実現パラダイムに変える。今、それが大切である。
- サミュエル・スマイルズの言葉  
「考えが変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」
- 子どもにしっかり目標を持たせ、あきらめることなくその目標に向かわせる働きかけが親や大人には必要である。



#### 受講者の声

- サッカーの本田選手など実在の人物の夢を実現させた人の話はとてもよかったです。
- BGMの効果も交えながら、わかりやすく、感動的に話をしていただきました。夢や希望をあきらめない自己実現パラダイムの獲得に向けた子どもたちへのかかわりが大切であることを学ぶことができました。

